

1. 件名：京都大学研究用原子炉排気筒解体物の保管状況等に係る面談（2）

2. 日時：令和5年4月19日（火）14時00分～15時15分

3. 場所：原子力規制庁 2階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 検査グループ

核燃料施設等監視部門

熊谷統括監視指導官、平野主任監視指導官、福永原子力運転検査官

熊取原子力規制事務所

大東事務所長、横山技術参与

京都大学

複合原子力科学研究所 中央管理室長 他5名

5. 要旨

○研究用原子炉（以下「KUR」という。）排気筒解体物の処分の取り組みについて

（1）京都大学から、資料1に基づき、KURの鉄筋コンクリート製排気筒の解体物の処分に係る対応について、放射性廃棄物でない廃棄物の管理のあり方の整理に時間を要したため、昨年末に計画したスケジュールよりも遅れているが、今年度末までには廃棄処分を完了したいとの説明があった。

（2）原子力規制庁から、スケジュールについて、単なる線表ではなく、具体的な計画を示し、適宜、取り組み状況を報告するよう伝えた。また、これまでの取り組みについて、熊取原子力規制事務所の原子力検査官にエビデンスなどを共有するよう伝えた。

（3）京都大学から、本日の面談を踏まえ、対応する旨の回答があった。

○KUR主排気設備のダクトで確認された亀裂について

（1）京都大学から、KURの主排気設備のダクトで確認された亀裂について、資料2に基づき、設備（亀裂）の状況、安全面への影響等の説明があったうえで、今後に関して、応急処置や再発防止の是正措置の具体策を検討していること、是正措置が完了するまでの当該排気設備の取り扱い等の説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下を伝えた。

- ・ 是正措置が完了するまでの安全確保について、適切な応急措置を講ずるとともに、監視強化等の必要な対応を実施すること。
- ・ 今回亀裂が確認されたダクトを含む主排気設備については、過去にも変形等が確認されていることや今後も長期にわたって使用する設備でもあることを踏まえ、抜本的な対策を講ずること。

(3) 京都大学から、本日の面談を踏まえ、対応する旨回答があった。

## 6. その他

資料1 KURスタックの処分に関する今後スケジュール

資料2 研究用原子炉（KUR）の主排気設備のダクトの一部亀裂について

### 参考

令和4年11月1日 京都大学研究用原子炉排気筒解体物の保管状況等に係る面談 (<https://www2.nra.go.jp/data/000409831.pdf>)